

(様式第4号)

## 上田市社会教育委員会議 会議概要

1 審議会名	第9期第2回社会教育委員会議
2 日時	令和5年5月9日 午後3時00分から午後4時55分まで
3 会場	市役所本庁舎 2階 202・203 会議室
4 出席者	宮下俊哉委員(代表)、小山ひとみ委員、清水洋幸委員、滝澤共子委員、小平千文委員、山崎順子委員 滝澤正幸委員
5 市側出席者	上原生涯学習・文化財課長、久保田人権同和教育政策幹、和根崎城跡整備担当政策幹、櫻井スポーツ推進課長、星野中央公民館長、木嶋西部公民館長、滝澤城南公民館長、馬場上野が丘公民館長、遠藤塩田公民館長、大森川西公民館長、小林丸子公民館長、松木真田中央公民館長、若林武石公民館長、佐藤図書館長、金田上田情報ライブラリー館長、坂部博物館長、横田生涯学習係長、宮崎生涯学習係主任、矢澤地域学校支援員
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年5月23日

### 協議事項等

- 1 開会(事務局)
- 2 自己紹介
- 3 あいさつ(宮下代表)
- 4 協議事項
  - (1) 代表代理の選任について  
(代表) 代表代理について立候補者がいないため、代表による指名推薦とさせていただく。山崎順子委員を選任する。  
(代表代理) あいさつ
  - (2) 令和4年度実績報告
  - (3) 令和5年度重点目標等について  
・資料に添い、城跡整備担当政策幹から重点目標管理シート「文化遺産の保存・継承・活用」について概要を説明  
  
(委員) 仏像特別展に向けた調査準備、これは新しい事業か。  
(事務局) 国の補助金を受けながら令和4年度から3ヵ年計画で進めている事業。仏像の悉皆調査を実施しており、令和5年度は50体を目標とし、全体で約200体弱の調査を予定している。  
(委員) 仏像の調査について、上田市全体くまなく調査して200体ということか。  
(事務局) 全体の中から歴史的に古く、文化的な価値のあるもの等を抽出して180体程度。  
(委員) 文化的な価値のないものについてはどうか。  
(事務局) それぞれ仏像として保管されている、祀られている意味合いがある。調査を通じて、仏像の所有者にも仏像に対する文化的な価値を再認識していただき、その上で必要があれば市民の皆さんにも地域にあるものについて再認識していただく機会としたい。  
(委員) 史跡上田城跡整備事業、櫓の復元的整備に向けた調査等の推進の中で、発掘調査や資料調査について懸賞金をかけるとのことだが、市民への周知方法はどのようなものか、またどの程度の予算が充てられるのか。  
(事務局) 周知について、広報うえだ6月15日号に掲載予定で、同日に市のホームページ、市LINE、メール等での周知を図る。SNSでの拡散が一番効果的だと考えている。懸賞金は最高で500万円としているが、全国的な事例等を参考に設定した。現状、懸賞金の取組で資料が出てきた事例はないが、反応、関心の度合いが高まる中で、新しく今まで知らなかったような資料が出てくることを期待しながら取り組みたい。

・資料に添い、生涯学習・文化財課長、人権同和教育政策幹から「生涯学習の推進と学習環境の整備」について概要を説明

- (委員) 公民館活動事業の、公民館情報の発信強化に向けて Facebook に関する研修会とあるが、SNS の活用について Facebook のみの研修ということか。
- (事務局) SNS は Twitter 等多種多様あり、職員研修はそれら全体を含めて行った。
- (委員) 県の「スマホタブレット、ゲーム等に関するアンケート」の分析作業を行い、とあるが、県全体の平均というか傾向を見て、それに基づいてリーフレットが作成されたということか。
- (事務局) この調査は、長野県教育委員会の調査で、県の発表は県下全ての内容についての傾向を分析している。リーフレットは、上田市として提出した数字を県と比較し、上田市の状況、傾向を数字化したものを載せている。
- (委員) とても大事な結果だと思う。家庭にお知らせし、結果から見える課題等が学校へ戻り、どのように政策に生かしていくかということまで繋がるのか。
- (事務局) メディアコントロール、家庭での取組の大切さを数字から見る分析結果として書いている。家庭内でのルール作り、取組に繋げていきたい。
- (委員) 協働電子図書館について、登録者が 883 人ということだが、年齢構成はどうか。
- (事務局) 県からの資料では登録者が多い世代は 40 代から 60 代とのこと。
- (委員) 公民館の充実のなかで「使用料等算定に係る受益者負担のあり方に関する基本方針」を踏まえた検討。とある。現段階の進捗状況、具体的なスケジュールをお聞きしたい。また、利用者団体はもちろん、広く市民の声を聞いて欲しい。
- (事務局) まず検討状況については、市全体の公共施設の基本方針が来年の 1 月から 3 月までに決まる予定。各公民館を含めた個別の施設について使用料をいくりにするかという検討は、おそらく令和 6 年度以降。見直し後、条例改正等を行い、市民等に周知をしていく段取り。市全体の方針は、担当の行政管理課で案を作成しているところで、その案が実際の公民館利用にどのような影響を与えるのかを、公民館の中でもプロジェクトチームを設置し検討している。市民に対する説明については、担当課の行政管理課で今年の 6 月から 8 月にかけて市民対象の説明会を予定している。会場は市内の公民館で、今後詳細な日程等確定した段階で、広報等で周知を図ると聞いている。
- (委員) 地域の若者の居場所の調査研究というところの期末報告で、市民団体が運営する子ども居場所の見学とある。この調査研究した結果があるのか。また、その結果を報告したり、市民の皆さんと共有するような機会があるのか。
- (事務局) これについては、継続して調査検討しているもの。教育行政としてどのような施策が必要なのかというところで、「おけまる食堂」等様々な取組を見学したり、調査を行っている。今後の方向性を検討していくということで、現時点で結果まで至っていない。

・資料に添い、スポーツ推進課長から「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」について概要を説明

- (委員) 菅平高原を内外に積極的に PR し、ブランド化強化とあるが、生涯学習環境の整備というものとの整合性に違和感がある。生活者である市民に対してどういう効果を期待しているのかというアプローチがあってもいいのではないか。
- (事務局) この部分は、従前から教育委員会ではなく市長部局の政策企画部で所管していた部分。正確に言うと、生涯学習、社会教育の分野からは外れる分野であり、地域づくりやまちづくりの観点の事業と考えていただきたい。
- (委員) スケート場関係の期末報告の中で、全小学校に意向調査とあるが、どのような声が上がったかお聞きしたい。
- (事務局) 廃止しないでほしい。これを機にスケート教室自体をやめてスキー場でのそり教室やソリ遊びに変更する。エムウエーブや軽井沢の風越のスケート場でスケート教室を継続して

いきたい。といった反応があった。スケート教室を続けたい学校には何らかの支援を考えた  
い。

(委員) スケート場の跡地、市民の森について今後の活用計画は決まっているか。

(事務局) スケート場は、春から秋にかけて土日・祝日はゴーカート場として利用しており、引続き  
営業していく予定としている。それ以外については検討段階だが、現在、オートキャンプの  
需要がかなり高いということで、自然の中での遊びやレジャーができるようなものに活用で  
きないかということを検討している。

・資料に添い、博物館長から「博物館関連」について説明。

(委員) 文化遺産の保存・継承・活用のところで、課題に「取組が求められています」「必要があり  
ます」との表現があるが、これらの言葉の多用は検討した方がよい。史跡上田城跡整備事業  
推進のところで、保護活用計画のゴールはどのように考えているのか。

(事務局) 保存計画については、現段階である程度かたちになったものがある。内容につき文化庁に  
目を通してもらい、修正等行い、認定となったものが最終形態となる。今年度中に文化庁の  
手が入ったかたちでの最終形態のものを作っていくたい。

(委員) 保存活用計画自体のゴールというよりも、その後実際に取組んで、活用計画が目指すところ  
に向けてどのくらいかかるのか。

(事務局) 文化庁からの資料の中に、保全活用計画はおおむね 10 年で見直しをかけるとあるので、具  
体的な事項は、この先 10 年間の目標というかたちとなる。

(委員) 生涯学習のところで、上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習の推進というのがある。  
記念シンポジウムをやるだけでも大変かと思うが、シンポジウムをやって終わりというのも  
どうなのか。課題には、公民館・図書館・博物館と連携し等とあるが、こういった部署を超  
えた取組もあるのか。

(事務局) 他部署との連携した取組はない。現在、シンポジウムは市民団体との連携でやってきてお  
り、その中で今後の取組について検討していきたい。必要に応じて他部署とも連携を図って  
いきたい。

#### (4) 社会教育委員関係今年度の事業について

(事務局) 事業計画の中で6月6日、6月14日、9月14日、10月20日のものについては、可能な  
限り出席をお願いしたい。その他研修会等は、出席希望があれば事務局で申し込み等のお手  
伝いができるので、お声がけいただきたい。あわせて、上田市教育委員会公民館職員研修も  
開催予定があるが、こちらも参加希望があればお声がけいただきたい。

#### (5) その他

(事務局) 今年の社会教育委員行政視察について、11月21、22日に栃木県で開催予定の関東甲信越  
静社会教育研究大会に1日参加し、もう1日どこかの先進地視察というかたちでの実施を提  
案する。今後、その方向で詳細を詰めていきたい。

#### 5 その他

(事務局) 次回会議日程についての説明、配布資料の説明

#### 6 閉 会